

## 編集後記

「遊星人」を若手研究者の一般記事を中心にした誌面作りに変えて2号目です。編集部の仕事はちょっと増えましたが、若手研究者の元気溢れる原稿に接して、刺激を受けています。

「遊星人」が若手登竜門的な役割を果たせるようになればいいなと思っています。あとは、古手研究者による高所大局から記事もバランス良く混ぜられるようになれば理想的ですね。

ゴールデンウィーク前半に、研究室の卒研生、修士院生をつれて、野辺山の宇宙電波観測所に3泊4日の観測実習に行ってきました。同伴してくれた宇宙研の北村さん、現地野辺山の砂田さんの懇切丁寧な指導のおかげで、全くの素人の僕たちでも45メートルの電波望遠鏡を使って、なかなか面白いデータをとることができました。自分がとったデータを順次処理していくと、電波の強度分布によるイメージがだんだんと現れてきてなかなか感動しました。

最近では原始惑星系円盤の観測がかなり進み、惑星形成理論と比較検討ができるようになってきました。そのため、観測の記事や論文も見たりしてたのですが、正直言って、宇宙語の文章のように見えて、ほとんど読めませんでした。ところが、不思議なことに、この観測実習あと、そういった観測の記事や論文がどんどん読めるのです。どれだけちゃんと理解できるかは別として、とにかく面白く読み進めるのです。知識は観測実習前後でほとんど増えていないはずなのにです。ほんの一端でも、実際に体験したということが重要だったのでしょうか？ そうなら、実験やデータ解析なんかもちよっとやってみたいなんて思います。

子どもやアマチュア向けのイベントだけでなく、科学者にも自分の専門分野以外の研究の一端を体験できる場があったら、惑星科学のような多分野にわたる科学にとって、有益のような気がします。その辺で「ちよっとやらせて」と言っても迷惑だろうから、ある程度組織的な場（古手中堅も参加できる夏の学校みたいなもの？）があったらいいですね。

井田 茂

**編集委員**

井田 茂 [編集長] 倉本 圭 [幹事]

荒川 政彦 飯島 祐一 加藤 工 北島富美雄 木村 眞 小林 憲正 小林 直樹 佐々木 晶

高木 靖彦 高田 淑子 田近 英一 中村 良介 平田 岳史 松島 弘一 米田成一 渡部 潤一

2000年6月25日発行

**日本惑星科学会誌 遊・星・人 第9巻 第2号**

定 価 一 部 1,750円 (送料含む)

編集人 井田 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科  
地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会

TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

**複写される方へ**

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

## 学会誌原稿作成の手引

日本惑星科学会編集専門委員会

### 1. 原稿の様式

はじめに委員長宛に投稿するときはプリントアウトした原稿2部, 最終稿では原稿2部(1部に字体, 図表の位置指定)とテキストファイルを提出すること. 原稿は, 原則として, ワードプロにより作成されたものとする. また, テキストファイルはフロッピーまたは電子メールで送付のこと. テキストファイル以外の場合には事前に編集幹事に相談のこと.

### 2. タイトル

記事のタイトルは15字以内. また, タイトル, 筆署名及び所属を和文・英文両方で付す.

### 3. セクション

セクションは1., 2., ..., サブセクションは1.1, 1.2, ..., 細区分は(1), (2), ..., の記号を頭に於て, 左寄せ, 行末改行とする. また文中での区分けは(a), (b), (c)を用いる. これら記号はすべて半角文字を用いる. セクションタイトルは12文字以内で簡潔に, また, セクションタイトルとして“はじめに”, “おわりに”, “まとめ”は避ける.

### 4. 述語

専門用語はなるべく避けるか, 十分な説明をつける. 特に, 対応する日本語がある場合, 英語・英略語は使わない.

### 5. 字体

数字, 英字は半角とする. また(, ), [, ], :, ;など区切り記号も半角を用いる. 本文は立体(ローマン), 数式はイタリックで組む. 本文中のイタリックは下線, 数式中の立体(ローマン)は2重下線, ゴチック(ボールド)は鼓下線で朱記指定する.

### 6. 単位

使用単位については特に統一しない. ただし,  $\text{gcm}^3$ ,  $\text{cms}^3$ などとはせず,  $\text{g/cm}^3$ ,  $\text{cm/s}$ とする.

### 7. 句読点

句読点は全角の“,”, “.”を用いる.

### 8. 図, 表, 画像

文中での図表の引用は“図1”, “表2”の形をとる. 最終項送付に際して, 図表, 画像の刷り上がり時の大きさと位置を指定のこと. 画像の投稿については, 1) 写真の場合: 印刷時実寸以上のサイズで鮮明なもの, 2) 画像ファイルの場合: 印刷時実寸で350dpi相当以上, 形式はtiffが望ましい. 他の文献から図表を転載する場合には予め編集委員会に照会のこと.

### 9. 脚注

脚注は“1”などの記号をつける.

### 10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る. 目安として10項目以内にする. 本文中での引用は[1], [2]の形で通し番号をつけ, 論文の末尾に一括してリストを載せる. 使用言語は原論文に従い, 論文名は省略する. 3人以上の著者はet al.または他と表記する. 形式は以下に従う.

#### 参考文献

[1] Wakusei, T. and Kinsei, S., 1989: *Astrophys.* **220**, 293-330.

[2] Wakusei, T. et al., 1999: *J. Geophys. Res.* **123**, 4567-4572.

[3] 惑星太郎, 1992: *天文月報* **85**, 186-190.

### 11. 原稿の送付先

投稿時の原稿送付先は

152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科

地球惑星科学専攻 井田 茂

FAX: 03-5734-3538

E-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻

倉本 圭

FAX: 011-746-2715

E-mail: keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp